

【後期科目等履修生】

【共通科目】

| 区分   | 授業科目       | 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 共通科目 | 看護倫理       | 看護実践の基盤となる倫理の基礎的知識について理解する。そして、文献や事例の分析をとおして、自らの専門分野の看護現場において看護職が直面する倫理的問題・葛藤について、関係者間での倫理的調整を行うための倫理的基盤とする。                                                                                                                                                   |
|      | 統計学        | 看護の研究・教育を行う上で必要となる統計的手法に関する知識を、統計解析ソフトウェア(主としてR)を使用した演習を通して学習する。具体的には、仮設検定、区間推定、回帰分析、ロジスティック回帰分析、比例ハザード回帰分析などを取り上げる。                                                                                                                                           |
|      | コンサルテーション論 | コンサルテーションのために基本的に必要な知識や技術について理解し、コンサルティとコンサルタントの関係性構築のプロセスについて学習を深める。これらをもとに、保健・医療・福祉領域においてより質の高い援助を提供するために、看護管理者、看護スタッフ、CNSが直面する課題を明確にし、解決に向かう方法を検討する。さらに、コンサルテーションの知識や技術の活用について、文献および院生が体験した事例を分析・検討する。また、講義、討論、およびロールプレイ、CNSによるコンサルテーション実践事例に基づく学習などを取り入れる。 |
|      | 保健福祉行政論    | わが国における保健医療福祉行政施策にかかわる課題について国際的な観点から理解し、今後の地域保健福祉サービスの構築のあり方について現状を踏まえ考察する。受講院生が予定している研究テーマを題材として保険医療福祉関連の社会資源とどのように関わっているかを把握・考察することによって、自分が取り組もうとしている研究の社会的な意義および地域保健医療福祉等における看護職の役割を認識することを目的とする。                                                           |

【領域別・分野別専門科目「教育・研究者」コース】

| 区分         | 授業科目       | 授業概要                                                                                                                                                                     |
|------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基盤看護学領域    | 基礎看護学特論    | 看護実践の学問的探究の視点から、看護実践への理論とエビデンスの活用、看護実践における研究と教育の動向、看護実践能力育成のための教育的支援について探究し、看護実践を言語化するための今後の課題と展望について考察する。                                                               |
|            | 看護教育・管理学特論 | 教育機関及び病院経営に関わる一員として、経営管理者の視点にたったマネジメントが展開できるように必要な知識、技術、能力、方法について修得し、これからの学校経営、看護部門経営、病院経営について考察する。<br>社会の変化・ニーズに対応した看護専門職の生涯学習としての継続教育のあり方について考察する。                     |
| 成熟期看護学領域   | 老年看護学特論    | 高齢者保健医療福祉制度の変遷や課題について把握した上で、高齢者に特徴的な症状と疾患、高齢者と家族へ看護を提供するための実践理論、医療・看護の質管理、倫理的課題について理解する。加えて、高齢者の健康評価の理論と方法を理解し、看護の実践と研究の統合について探究する。<br>講義、文献精読、学生によるプレゼンテーション、討議により学習する。 |
| 精神・地域看護学領域 | 精神看護学特論    | 精神看護学における実践の基盤となる看護理論や関連分野のモデル・概念について学ぶ。さらに主な精神疾患と治療、看護援助法を学び、理論やモデルのどのように実践に応用するか検討する。                                                                                  |
|            | 地域看護学特論    | 地域看護分野における研究方法や情報分析の諸理論を学び、地域看護にかかわる課題を研究的に解決するための学修を深める。地域で生活する疾病や健康課題を持つ人々とその家族の支援に関する諸理論・活動の展開方法を理解し、効果的な在宅看護活動のあり方を探究する。                                             |

## 【領域別・分野別専門科目「専門看護師」コース】

| 区分      | 授業科目   | 授業概要                                                                                                                                                                               |
|---------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 災害看護学分野 | 災害看護学Ⅳ | 災害の発生からの時間軸に沿って、災害急性期の命を救う活動、避難所や仮設住宅での生活をする人たちへの看護活動を含めて、災害に備えた準備や訓練等を行う静穏期の看護活動について深く探求する。それぞれの看護活動を行う際に、どのようにアセスメントを行い看護活動につなげることができるのかを検討し、具体的な災害事例を通して災害時における看護活動について理解を深める。  |
|         | 災害看護学Ⅴ | 災害の被害を少なくする為に、個人・家族・地域・医療機関などの防災・減災に向けた体制づくりについての原理と援助方法をHUG等の演習を通して学ぶ。さらに、地域住民や医療従事者に対して、災害看護教育の専門家として、これからの巨大災害への備えの重要性について検討する。                                                 |
|         | 災害看護学Ⅵ | 災害時に支援ニーズの高い対象（小児・妊産褥婦・高齢者、障がい者等）が持つ健康問題とそれに対する援助方法を修得する。特に上記のような災害時要配慮者は、それぞれに個別の問題を抱えており、看護援助を検討するための一つのツールとしてPCM (Project Cycle Management)を活用し、PCMの演習を通して災害時要援護者の看護援助について修得する。 |
|         | 災害看護学Ⅶ | 国内外の災害現場における、災害サイクル別の危機的状況に対して、看護専門職や他職種等との連携のあり方、行政や関係機関との連携支援システムや災害看護コーディネーターの役割等について、理解を深める。国内外の事例を通して、災害各期における専門職の連携と多職種の連携の重要性を深く探求する。                                       |